

# 職務経歴書

20XX年XX月XX日

氏名 静楽 太郎

## 【職歴要約】

株式会社〇〇にプログラマーとして入社後、システムエンジニアを経てプロジェクトリーダーにキャリアアップしました。プロジェクトリーダーとしては約〇年間従事しており、顧客企業向けにアプリケーションの企画から運用保守、デジタルソリューション活用の提案を行っていました。株式会社△△では自社で開発した製品の生産設備を監視するソフトや、工場IoT可視化ソフトに関する業務に携わっております。

## 【職務経歴】

会社名：株式会社△△ 事業内容：デジタルインダストリー・サービスインテグレーション事業  
設立：20XX年 資本金：●千万円（20XX年XX月） 売上高：●億●千万円（20XX年度）  
従業員数 ●●●名

期間	業務内容
20XX年XX月～ 現在	<p>■プロジェクト概要</p> <p>自社で開発している製品の生産設備を監視するソフトや工場IoT可視化ソフトに関する業務</p> <p>■担当業務</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・スマートファクトリー商品開発プロジェクトの運営と管理</li><li>・スマートファクトリー商品を使用したSIプロジェクトの運営と管理</li></ul> <p>■取り組み</p> <p>スケジュールやコスト管理などの全体的なプロジェクトマネジメント業務のほかに、設計やテスト、テストツールの導入なども行っています。プロジェクトメンバーとのコミュニケーションを密にとり、それぞれの業務に対する得手不得手を把握したうえで取りまとめるように心がけております。</p> <p>■実績・成果</p> <p>テストツールを導入した結果、テスト工程の作業効率が15%アップしました。また、ある程度はチームメンバーの得手不得手を把握しておりましたので、トラブル発生時にその分野に強いメンバーと即座に対応した結果、スケジュールの遅延を防ぐことができました。</p>

会社名：株式会社〇〇 事業内容：情報システムに関する設計、開発、運用管理、保守、調査、分析、評価および技術支援業務  
設立：20XX年 資本金：●千万円（20XX年XX月） 売上高：●億●千万円（20XX年度）  
従業員数 ●●●名 上場：●●●上場

期間	業務内容
20XX年XX月～ 20XX年XX月	<p>■プロジェクト概要</p>

	<p>顧客企業向けにアプリケーションの企画・設計・開発・運用・保守や、IT サービスの提供・デジタルソリューションの活用提案を行う。</p> <p>■担当業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クライアント企業向けの業務アプリケーションの企画・設計・開発・運用・保守</li> <li>・クライアント企業向けのネットワークやサーバの設計・構築と運用・保守および DB 設計・構築</li> <li>・組み込みソフトウェアの設計と開発</li> </ul> <p>■取り組み</p> <p>クライアント企業向けの業務アプリケーションは、現場の声を尊重し、IT に詳しくない人でも使いやすいよう意識しながら設計を行いました。</p> <p>■実績・成果</p> <p>IT について詳しくない現場の方からも使いやすさを評価される機会が増えました。徐々に任されるプロジェクトや業務も増えていき、3年目にはプロジェクトリーダーにキャリアアップしました。</p>
--	---

**【活かせる経験・知識・技術等】**

- クライアント企業向けのアプリケーションの企画・設計・開発・運用・保守
- IT サービスと、デジタルソリューションの活用提案
- スマートファクトリー商品開発プロジェクト及び使用した SI プロジェクトの運営と管理

**【資格】**

- IT パスポート試験 / 20xx 年 xx 月取得
- 基本情報技術者試験 / 20xx 年 xx 月合格
- C 言語プログラミング能力認定試験 / 20xx 年 xx 月合格
- 情報セキュリティマネジメント試験 / 20xx 年 xx 月合格
- 応用情報技術者試験 / 20xx 年 xx 月合格
- IT ストラテジスト試験 / 20xx 年 xx 月合格
- システムアーキテクト試験 / 20xx 年 xx 月合格

**【使用ツール】**

Eclipse

**【自己 PR】**

クライアント企業向けの業務アプリケーションの企画では、現場の声を尊重し IT に詳しくなくても使いやすいことを心がけて設計に注力したところ、現場の方からも感謝される機会が増えました。プロジェクトリーダーを任されてからは、メンバーと共に成長できるようにメンバーの自主性を尊重し努めております。御社でもプロジェクトリーダーとして、チーム力を高められるようコミュニケーション能力とメンバーの適性を把握する能力を活かし、プロジェクトを成功へと導けると考えています。

以上